

令和6年度 神奈川県公共施設等総合管理計画の進捗状況

本報告書は、神奈川県公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂）第2部の10に基き、令和6年度における計画の進捗状況について報告するものです。

分類	個別施設類型	目標 ※	主な取組
県有施設	庁舎等施設	延床面積の縮減 (H17年度比でR7年度までに92%)	・スポーツセンタースポーツアリーナ1改修工事の実施 ・予防保全的に行う計画修繕工事134件の実施 ・箱根老人ホーム有償譲渡等の実施 (R6年度時点での延床面積(H17年度比)：86.8%)
	警察関連施設	〈庁舎系施設〉 施設数の縮減 (R2年度比でR11年度までに94%)	〈庁舎系施設〉 ・川崎警察署京町通交番ほか7交番及び3駐在所の建替え ・東蒔田町交番ほか6件の統合、廃止 (R6年度時点での施設数(R2年度比)：95%)
		〈交通安全施設〉 必要性の低くなった交通信号機を他の代替手段に変更することにより撤去	〈交通安全施設〉 ・交通信号機5箇所の撤去 (必要性の低い信号機を選定し、廃止に向けた検討や調整を行っている)
	公営住宅	建替えの推進と適切な維持管理	・伊勢原峰岸団地他11団地の建替え ・阿久和団地等13,586件の修繕
	学校施設	県立学校施設の耐震化 (R8年度までに100%)	・横浜翠嵐高校等14棟の耐震対策を実施 (R6年度時点での累計：98.1%)
都市基盤施設	道路施設	橋梁、トンネルなどの定期点検の実施 (R1～R5年度で100%、R6～10年度に100%再実施)	・定期点検の実施件数：304件 (R6年度時点での累計：20%)
	河川管理施設	長期保全計画に沿った点検 (R3～R7年度で100%実施、R8～12年度に100%再実施)	・長寿命化計画に基づく施設点検を長寿命化計画策定済みの河川管理施設で行っている（達成率：100%） ・長寿命化計画について、8施設で計画の見直しを実施
	砂防関係施設	要対策施設の長寿命化対策実施の割合 (H30年度比でR10年度までに25%)	・砂防関係施設の全体改修等費用の12%分の改修等を実施
	海岸関係施設	要対策施設の長寿命化対策実施の割合 (R10年度までに20%、R50年度までに100%)	・要対策施設の長寿命化対策実施 (R6年度時点での累計：11.2%)
	港湾施設	港湾施設の適切な維持管理及び機能維持のための修繕 (R10年度までに40%)	・港湾施設の適切な維持管理及び機能維持のための修繕 (R6年度時点での累計：39.8%)
	都市公園施設	重要施設の定期的な健全度調査の実施 (R3～R7年度で100%実施)	・観音崎公園等311件の改修、修繕等
	土地改良施設	個別施設計画に基づく定期点検診断及び個別施設計画の見直しの実施 (R7年度までに100%)	・磯部頭首工及び相模川左岸用水路(県央)の保全対策を実施 ・個別施設計画の見直しの実施 (R6年度時点での累計：5路線35.7%)
	治山施設	要対策施設(健全度Ⅲ、Ⅳ)の長寿命化対策を実施 (R3～R12年度までに120箇所)	・谷止工2基の補修、土留工4基の設置 (長寿命化対策の実施 R6年度時点での累計：23%)
	林道施設	要対策施設(健全度Ⅲ、Ⅳ)の長寿命化対策を実施 (R10年度までに18箇所)	・R7年度以降の施工箇所の橋梁、隧道の補修設計委託の実施（9施設分） (長寿命化対策の実施 R6年度時点での累計：27.8%)
	海岸保全施設	長寿命化計画策定後の改修・点検等による計画の見直し及び新設施設に関する長寿命化計画策定 (R3～R7年度に50%、R12年度までに100%)	・施設点検等の長寿命化に向けた対策を適切に実施 (R6年度時点での累計：38%)
	漁港施設	長寿命化計画策定後の改修・点検等による計画の見直し及び新設施設に関する長寿命化計画策定 (R3～R7年度に50%、R12年度までに100%)	・個別の施設計画に基づく施設の点検や長寿命化計画策定 (R6年度時点での累計：79%)
	自然公園施設	長寿命化計画に沿った施設の維持管理・修繕、改修、更新の実施 (R3～R12年度で100%実施、R13～22年度に100%再実施)	・塔ノ岳園地再整備(1箇所)、丹沢主脈線歩道整備(1路線)、宮ヶ瀬湖集団施設地区の給水施設更新等の実施 (R6年度時点での累計：40.6%)
公営企業施設	下水道事業施設	改築更新の重点化 (R7年度までに180設備、R12年度までに300設備(R3～の累計))	・改築更新の重点化：R3～6年度の累計で88設備を実施 (R6年度時点での累計：R12年度目標の約29%)
	水道事業施設	R10年度末時点の基幹管路の耐震適合率75%	・基幹管路の耐震対策の実施 (R6年度時点での耐震適合率：72%)
	電気事業施設	電力と水道用原水の安定供給を維持するため、ダムや発電所を安定的に維持管理する 自然災害などによる避けられないトラブルはあるが、計画外の発電機停止時間を可能な限り削減する	・再生可能エネルギーの地産地消や電力をためる取組を実施 ・電力と水道用原水の安定供給を継続していくため、老朽化している設備を更新する必要がある、その中の一つとして相模ダムリニューアルの工事に着手
独立行政法人施設	試験・研究検査施設	定期的な施設点検による適切な維持管理及び計画的な施設整備	・実験排水処理施設改修工事を実施 ・空調用ポンプ取換工事（特殊空調）を実施 ・排ガス処理設備更新工事を実施 ・自動制御設備更新工事（一般空調、特殊空調）を実施 ・内装補修工事を実施
	大学施設	建物・設備の定期点検・総合点検の実施 (R3～R7年度で100%実施、R8～12年度に100%再実施)	・建物・設備の定期点検・総合点検の実施率100%

※総合管理計画に記載された目標から変更された部分は赤字で記載しています。